

フラワーラインの植栽、トイレ、駐車場など誘客できる環境を作ることができるか

平砂浦海岸は、東京湾側の鏡ヶ浦とは異なる海の表情があり、大島と富士山の両方を望むことができます。現在は、サーファーや釣り人が楽しんでいますが、季節により、ハマゴウ、ハマヒルガオなどの海岸植物の群生が見られ、夕景も鏡ヶ浦とは一味違った素晴らしさがあり、景色を楽しむことを目的とした観光客の誘致ができる場所です。館山市は財政難を理由にフラワーラインの花の植栽のための予算を削減し、昨年度は菜の花の植栽を県が行ったのみで、夏の間は草が繁茂しました。

RECAMP(元ファミリーパーク)脇の公衆トイレは白アリの被害を受けて使用中止になったまま、旧アロハガーデンは閉じたままで駐車場も使えません。

せっかくの景観、観光資源を生かして観光客を呼び込む体制ができていません。平砂浦、フラワーラインの価値を見直し、整備を進めることも、「館山のポテンシャル」を活かすことになります。

観光DMOを設立し宿泊税を役立てることができるか

観光DMOとは観光地域づくり法人のことで、「地域の稼ぐ力を引き出し、誇りと愛着を醸成する“観光地経営”の司令塔」と定義されています。館山市は千葉県の宿泊税150円に館山市独自の上乗せ分150円を加えて300円の宿泊税を徴収する予定です。この宿泊税を有効に使い、市の観光地経営を戦略的に行うことが観光DMOの役割です。熱海市では、観光DMOにあたる「熱海局」を設立し、魅力的な観光地づくりと情報発信を効果的に行い、観光地としての賑わいを見事に取り戻しています。

観光の活性化を実現できる観光DMO、観光業とともに他の市内産業を発展させることのできる司令塔となるべき組織の構築を期待します。



令和8年度一般会計予算から

令和8年度の一般会計予算は、235億6,200万円で、昨年度より16億6,000万円増加しています。

▼予算額の大きな事業

- ・障害自立支援給付事業 17億4,395万円……障害介護給付費、障害児童通所等給付費など
- ・学校再編施設改修事業 14億3,338万円……学校再編により児童数の増える、北条小学校・館山小学校の整備
- ・生活保護事業 11億7,700万円……医療扶助費、生活扶助費など
- ・介護保険特別会計繰出金 10億8,416万円……介護給付費への繰出金など
- ・安房郡市広域市町村圏事務組合常備消防費負担金 10億4,032万円……常備消防の施設整備や運営等の経費



▼削減された主な事業

- 【廃止】高齢者免許証自主返納促進事業 △91万円
- 軽度生活援助利用助成金 △22万円
- スポーツ団体支援・スポーツイベント費 △49万円
(寒中水泳・南房駅伝大会)
- 【停止】防犯カメラ設置事業 △89万円
- 市民協働事業補助金(新規事業の募集停止) △60万円
- たてやま海まちフェスタ △80万円
- 【縮小】心身障害者(児)医療費給付扶助費
10億4,447万円→8億153万円(△2,294万円)
- 社会福祉協議会補助金 3,154万円→2,760万円(△394万円)
- 観光協会補助金 1,995万円→1,000万円(△995万円)
- 移住定住促進助成金 720万円→520万円(△200万円)



停止となった市民協働事業は市行政ではやりきれない事業を市民が手弁当で実施し、環境、福祉、地域づくり、子どもの見守りなど様々な分野で成果を出しています。市民協働事業の新規採用を停止するというのは、暮らしをより良くしていこうという市民活動に対し、市が背を向けていると思えます。行政が事業を縮小せざる負えない中で市民と協力し、市民の力を使いながら市を活性化していこうという姿勢は崩してはならないと思います。

防犯カメラは犯罪が起きた際に犯人の捜査に効果を発揮するだけでなく、行方不明人の捜索にも役立ちます。市内での普及はまだ十分とは言えません。削減されるこれらの事業について早期に再考することを求めます。

学校再編が進みます



船形小学校が閉校になり、4月から那古船形小学校が誕生し、房南小学校と神余小学校は、まなびの杜房南小学校と神余分校になりました。令和9年4月には房南中学校が館山中学校に、北条小学校、九重小学校、館野小学校が統合して北条小学校に、館山小学校、豊房小学校、西岬小学校が統合して館山小学校となります。遠距離通学となる子どもたちのために、スクールバスの運行も増えます。子どもたちが、より良い環境で学べるように進めていきたいと思えます。

おわりに



館山市の厳しい財政状況は20年以上続いています。大きな企業のない地方都市は、同様に財政が厳しいところが大半です。人口減少が進み、市内のあらゆる場所で人手不足が嘆かれています。事業継承ができず、閉店、廃業する事例も多く見られます。しかし、地域課題を解決しようとする市民の活動を応援し、小さな新規事業を

応援することで地域が活性化し、移住者も増やしている自治体もいくつもあります。

館山市の経費削減ももう限界にきていると思えます。館山市の持つ温暖で豊かな自然、東京圏からの近さなどの特性を活かして、市内経済の活性化、暮らしやすいまちづくりを進めていきましょう。

